

第59期

報告書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで



株式会社

鶴見製作所



株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申しあげます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

ここに第59期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申しあげます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、2008年10月以降の世界的な金融危機の影響がまだ顕在するものの、緊急経済対策等の効果により企業収益は改善を続け、設備投資や住宅投資、個人消費の底打ちによる景気持ち直しの動きが見られました。

しかしながら引き続き失業率が高水準にあるなど雇用情勢は厳しく、また公共投資に弱含みの動きが見られるなど全体としてはまだまだ厳しい状況で推移しました。

海外におきましては、アジア地域では、中国を中心として景気刺激策の効果により、内需拡大の動きが見られましたが、米国では、景気持ち直しの動きはあるものの、雇用情勢の悪化などの景気低迷リスクが引き続き見られました。

このような状況の中で当社グループは、新中期3ヶ年経営計画「Revolution2012」のもと、「より高度な技術・製品・サービスの提供を目指す技術集団へ」をテーマとして、全社一丸となって業績の向上に努めました。

国内部門では、主力市場のひとつである建設機械市場におけるレンタル業界は、中小規模の建設現場等において一部の環境関連商品で前年実績を上回りましたが、全体としましては、建設機械市場向け商品の売上は減少しました。

設備機器市場につきましても、一部で政府の経済対策効果はありましたが、民間の設備投資の手控えにより販売は低調に推移しました。

海外部門では、北米市場においては、小型・中型商

品需要及び鉱山関連需要が上向きつつありましたが、本格的な売上回復には至りませんでした。

その他地域においては、発展途上のインフラ需要はありましたが、全般的には投資抑制の長期化により販売は低調に推移しました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、281億53百万円と前連結会計年度比9.9%の減収、営業利益は、19億75百万円と前連結会計年度比4.8%の減益、経常利益は、22億76百万円と前連結会計年度比2.1%の減益、当期純利益は、13億45百万円と前連結会計年度比5.2%の増益となりました。

なお、当期末の配当金につきましては、普通株式1株につき8円とさせていただきます。これにより、中間配当金（1株につき8円）を含めました当事業年度の年間配当金は1株につき16円となります。

今後の経済見通しにつきましては、国内及び海外共に景気の持ち直し傾向が続くことが期待されるものの、政府の景気対策効果の剥落による個人消費の低迷や公共事業の大幅な減少などが懸念され、まだまだ予断を許さない状況が続くものと思われま

す。当社グループ関連業界におきましても、公共投資の低迷、買い控えによる需要の減少に伴い、厳しい受注競争、価格競争が続くものと懸念されます。

その中で当社グループは、グローバルな競争が激化された市場において求められる「より高度な提案力や技術力」の提供を続けていくことで、業績の向上を目指します。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

平成22年6月

取締役社長

辻本 治

〈国内部門〉

国内部門につきましては、主力市場のひとつである建設機械市場におけるレンタル業界では、中小規模の建設現場等において環境への配慮からpH中和処理装置や大型車両用の自動タイヤ洗浄機などが多く採用されるなど一部の環境関連商品で前年実績を上回りましたが、全体としましては、大型公共投資の見直しやマンションなど民間住宅市場等の冷え込みの影響を受け、建設機械市場向け商品の売上は前連結会計年度と比べ大きく減少しました。

設備機器市場につきましては、一部で政府の経済対策効果により公共向けの中大型ポンプ関連物件の受注は順調に推移しましたが、民間の設備投資の手控えにより真空ポンプや水処理関連機器などの販売が低調に推移しました。

これらの結果、売上高は、242億48百万円と前連結会計年度比10.0%の減収となりました。

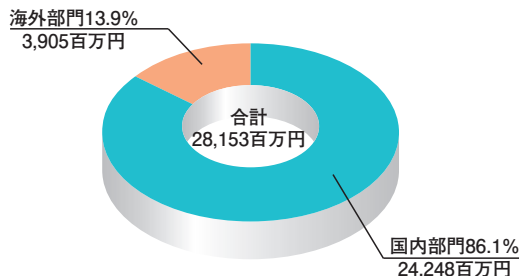
〈海外部門〉

海外部門につきましては、北米市場においては、一部で小型・中型商品需要及び鉱山関連での需要は上向きつつあり、残念ながら本格的な売上回復には結び付いておりませんが、選別受注と経費節減に注力した営業活動を行いました。

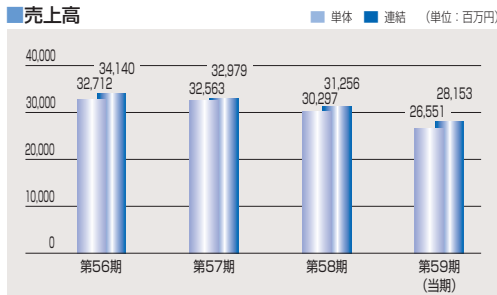
その他地域においては、発展途上国のインフラ需要は堅調に推移しましたが、全般的には投資抑制が長期化したことで、販売は低調に推移しました。

これらの結果、売上高は、39億5百万円と前連結会計年度比9.2%の減収となりました。

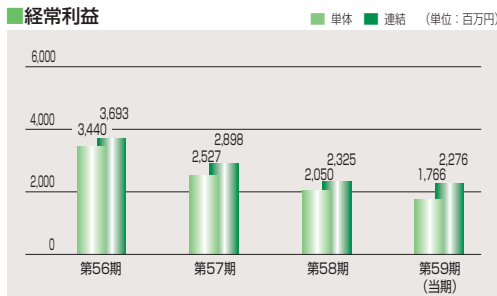
■部門別売上高



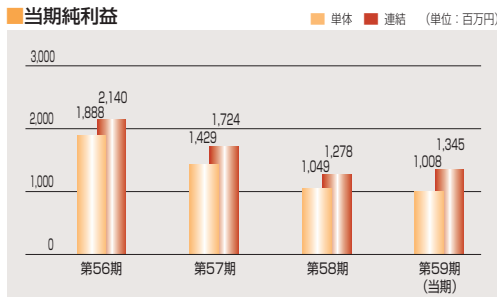
■売上高



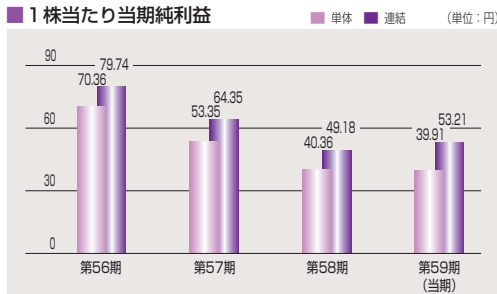
■経常利益



■当期純利益



■1株当たり当期純利益



雨水排水ポンプ

立軸斜流ポンプPSV型

中部ポンプシステム課

合流式下水処理センター内の雨水排水ポンプとして、立軸斜流ポンプPSV型（口径1,350mm×2台、口径900mm×1台）合計3台を納入設置いたしました。

納入ポンプ仕様

	1350PSV	900PSV
形式	2床式立軸斜流ポンプ	2床式立軸斜流ポンプ
口径	1,350mm	900mm
全揚程	6.0m	5.5m
吐出量	255m ³ /min	102m ³ /min
回転数	234min ⁻¹	350min ⁻¹
原動機種類	ディーゼル機関	誘導電動機
原動機出力	365kW	130kW
納入数	2台	1台



エンジン及び減速機（駆動部）



ポンプ（上部）



ポンプ（上部）



電動機（駆動部）



吸込み槽（下部）

連結貸借対照表の要旨 (平成22年3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	21,762	流動負債	7,190
現金及び預金	3,330	支払手形及び買掛金	3,723
受取手形及び売掛金	12,045	一年内償還予定の社債	1,000
有価証券	24	未払法人税等	595
たな卸資産	5,595	賞与引当金	569
繰延税金資産	647	その他	1,302
その他	180	固定負債	1,687
貸倒引当金	△ 61	社債	1,000
固定資産	21,816	退職給付引当金	266
有形固定資産	10,826	役員退職慰労引当金	171
建物及び構築物	3,270	その他	248
機械装置及び運搬具	679	負債合計	8,878
工具器具及び備品	245	(純資産の部)	
土地	6,631	株主資本	35,483
無形固定資産	566	資本金	5,188
投資その他の資産	10,422	資本剰余金	7,896
投資有価証券	8,921	利益剰余金	24,783
前払年金費用	856	自己株式	△ 2,385
その他	718	評価・換算差額等	△ 806
貸倒引当金	△ 72	その他有価証券評価差額金	△ 323
資産合計	43,578	繰延ヘッジ損益	6
		為替換算調整勘定	△ 489
		少数株主持分	23
		純資産合計	34,700
		負債・純資産合計	43,578

連結損益計算書の要旨 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
売上高	28,153
売上原価	19,656
売上総利益	8,496
販売費及び一般管理費	6,520
営業利益	1,975
営業外収益	483
営業外費用	182
経常利益	2,276
税金等調整前当期純利益	2,276
法人税、住民税及び事業税	1,009
法人税等調整額	△ 79
少数株主利益	0
当期純利益	1,345

連結株主資本等変動計算書の要旨 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株 主 資 本				
	資本金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自己株式	株主資本合計
前期末残高	5,188	7,896	23,844	△ 2,156	34,773
当期変動額					
自己株式の処分		△ 0		0	0
剰余金の配当			△ 405		△ 405
当期純利益			1,345		1,345
自己株式の取得				△ 230	△ 230
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△ 0	939	△ 229	709
当期末残高	5,188	7,896	24,783	△ 2,385	35,483

	評価・換算差額等			
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計
前期末残高	△ 603	—	△ 471	△ 1,075
当期変動額				
自己株式の処分				
剰余金の配当				
当期純利益				
自己株式の取得				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	279	6	△ 18	268
当期変動額合計	279	6	△ 18	268
当期末残高	△ 323	6	△ 489	△ 806

	少数株主持分	純資産合計
前期末残高	28	33,727
当期変動額		
自己株式の処分		0
剰余金の配当		△ 405
当期純利益		1,345
自己株式の取得		△ 230
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 4	263
当期変動額合計	△ 4	973
当期末残高	23	34,700

単体貸借対照表の要旨 (平成22年3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	19,258	流動負債	6,949
現金及び預金	1,916	買掛金	3,686
受取手形及び売掛金	12,112	一年内償還予定の社債	1,000
有価証券	24	未払金	177
たな卸資産	4,492	未払費用	674
繰延税金資産	475	未払法人税等	554
その他	280	賞与引当金	560
貸倒引当金	△ 42	その他	295
固定資産	21,853	固定負債	1,520
有形固定資産	9,930	社債	1,000
建物及び構築物	2,707	退職給付引当金	266
機械装置及び運搬具	605	役員退職慰労引当金	171
工具器具及び備品	214	繰延税金負債	15
土地	6,402	その他	66
無形固定資産	119	負債合計	8,469
投資その他の資産	11,803	(純資産の部)	
投資有価証券	9,530	株主資本	32,910
前払年金費用	852	資本金	5,188
その他	1,493	資本剰余金	7,896
貸倒引当金	△ 73	利益剰余金	22,210
資産合計	41,112	自己株式	△ 2,385
		評価・換算差額等	△ 267
		その他有価証券評価差額金	△ 274
		繰延ヘッジ損益	6
		純資産合計	32,642
		負債・純資産合計	41,112

単体損益計算書の要旨 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
売上高	26,551
売上原価	19,363
売上総利益	7,188
販売費及び一般管理費	5,663
営業利益	1,524
営業外収益	413
営業外費用	171
経常利益	1,766
税引前当期純利益	1,766
法人税、住民税及び事業税	881
法人税等調整額	△ 123
当期純利益	1,008

単体株主資本等変動計算書の要旨 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株 主 資 本		
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金
前期末残高	5,188	7,896	21,607
当期変動額			
自己株式の処分		△ 0	
剰余金の配当			△ 405
当期純利益			1,008
自己株式の取得			
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			
当期変動額合計	—	△ 0	603
当期末残高	5,188	7,896	22,210

	株 主 資 本	
	自己株式	株主資本合計
前期末残高	△ 2,156	32,537
当期変動額		
自己株式の処分	0	0
剰余金の配当		△ 405
当期純利益		1,008
自己株式の取得	△ 230	△ 230
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		
当期変動額合計	△ 229	373
当期末残高	△ 2,385	32,910

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
前期末残高	△ 542	—	△ 542	31,994
当期変動額				
自己株式の処分				0
剰余金の配当				△ 405
当期純利益				1,008
自己株式の取得				△ 230
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	268	6	274	274
当期変動額合計	268	6	274	647
当期末残高	△ 274	6	△ 267	32,642

(平成22年3月31日現在)

商号 株式会社 鶴見製作所
TSURUMI MANUFACTURING CO.,LTD.

創業 大正13年(1924年)1月5日
設立 昭和23年(1948年)2月12日
資本金 51億88百万円

■主要な事業内容

当社グループは、水中ポンプを主力とした各種ポンプとその関連機器の製造、仕入及び販売（輸出入を含む）並びに賃貸を行っており、それに附帯する修理及びアフターサービス並びに機械器具設置工事、土木工事、電気工事、管工事、水道施設工事、清掃施設工事、鋼構造物工事、固定資産のリース業の事業活動を展開しております。

■主要な営業所及び工場

- 大阪本店 ☎538-8585 大阪市鶴見区鶴見4丁目16番40号
☎(06)6911-2351(代)
- 東京本社 ☎110-0016 東京都台東区台東1丁目33番8号
☎(03)3833-9765(代)
- 京都工場 ☎614-8163 京都府八幡市上奈良長池1番1号
☎(075)971-0831
- 米子工場 ☎683-0851 鳥取県米子市夜見町2700番地
☎(0859)29-0811
- 北海道支店 ☎065-0020 札幌市東区北20条東17丁目1番5号
☎(011)787-8385
- 東北支店 ☎984-0042 仙台市若林区大和町4丁目9番11号
☎(022)284-4107
- 東京支店 ☎110-0016 東京都台東区台東1丁目33番8号
☎(03)3833-0331
- 北関東支店 ☎337-0051 さいたま市見沼区東大宮1丁目71番地28
☎(048)688-5522
- 新潟支店 ☎950-0963 新潟市中央区南出来島2丁目13番1号
☎(025)283-3363
- 北陸支店 ☎920-0059 金沢市示野町西8番地
☎(076)268-2761
- 中部支店 ☎453-0853 名古屋市中村区牛田通2丁目19番地
☎(052)481-8181
- 近畿支店 ☎538-0054 大阪市鶴見区緑2丁目1番28号
☎(06)6911-2311
- 兵庫支店 ☎652-0801 神戸市兵庫区中道通6丁目4番5号
☎(078)575-0322
- 中国支店 ☎731-5132 広島市佐伯区吉見園1番21号
☎(082)923-5171
- 四国支店 ☎761-8075 高松市多肥下町1554番地28
☎(087)815-3535
- 九州支店 ☎812-0004 福岡市博多区榎田2丁目9番地30号
☎(092)452-5001

■営業所

札幌・旭川・仙台・青森・郡山・盛岡・山形・秋田・新潟・大宮・前橋・宇都宮・長野・東京第一・東京第二・千葉・横浜・名古屋第一・名古屋第二・静岡・岐阜・沼津・金沢・富山・福井・大阪第一・大阪第二・京都・滋賀・阪奈・和歌山・神戸・姫路・北近畿・広島・岡山・山口・米子・高松・松山・福岡・熊本・鹿児島・大分・宮崎・沖縄

■子会社及び関連会社

- 株式会社ツルミテクノロジーサービス ☎06-6911-2351
☎538-0053 大阪市鶴見区鶴見4丁目16番43号
- H&E TSURUMI PUMP CO.,LTD. ☎852-2730-7208
Unit 2503-5,25/F.,Ocean Building,80 Shanghai Street,Kowloon,Hong kong
- TSURUMI(SINGAPORE)PTE.LTD. ☎65-6760-8338
48 Toh Guan Road East #01-138 Enterprise Hub Singapore 608586
- TSURUMI(AMERICA)INC. ☎1-630-793-0127
1625 Fullerton Court,Glendale Heights,Illinois 60139,U.S.A.
- TSURUMI PUMP TAIWAN CO.,LTD. ☎886-3-368-9830
中華民国台湾省桃園縣八德市豊田街67號
- SHANGHAI TSURUMI PUMP CO.,LTD. ☎86-21-6710-7612
中華人民共和国上海市工業綜合開發区航誼路386号
- TSURUMI(SHANGHAI)CO.,LTD. ☎86-21-6432-6010
中華人民共和国上海市徐匯区漕宝路80号 上海光大会展中心D座1201室
- TSURUMI PUMP KOREA CO.,LTD. ☎82-2-701-6356
大韓民国ソウル特別市麻浦区孔徳洞404 プリンオピステル728
- TSURUMI PUMP (THAILAND) CO.,LTD. ☎66-02-291-2340
493/3 Rama 3 Road, Bangkloe, Bangkoklam, Bangkok, 10120, Thailand
- TSURUMI PUMP (M) SDN. BHD. ☎60-3-7803-3373
No.11.kalan PJU3/49,Sunway Damansara Technology Park,47810 Petaling Jaya,Selangor Darul Ehsan,Malaysia
- TSURUMI VACUUM ENGINEERING (SHANGHAI) CO.,LTD. ☎86-21-5724-2030
中華人民共和国上海市金山区金山嘴工業区衛清東路2000号

■従業員

企業集団の従業員の状況

従業員数	前期末比増減
866名	4名減

(注) 従業員数は嘱託、契約社員、パートを除いております。

(平成22年3月31日現在)

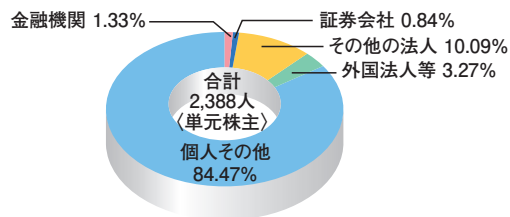
(平成22年3月31日現在)

■発行可能株式総数	100,000,000株
■発行済株式の総数	27,829,486株
■株主数	2,821名
■大株主	

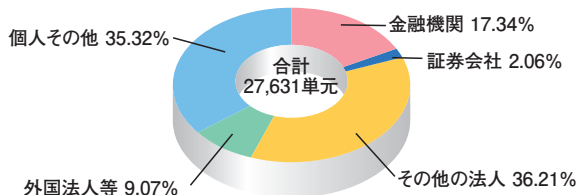
株主名	持株数	持株比率
	千株	%
有限会社 ツルミ興産	1,960	7.82
ツルミ共栄会	1,278	5.10
株式会社 三井住友銀行	1,254	5.01
株式会社 三菱東京UFJ銀行	875	3.50
デンヨー株式会社	648	2.59
鶴見製作所社員持株会	603	2.41
株式会社 有伸興産	518	2.07
住友信託銀行株式会社	465	1.86
株式会社 高陽	432	1.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	430	1.72

(注) 当社は自己株式2,771千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■所有者別



■所有数別



取締役社長 (代表取締役)	辻本 治
専務取締役	内藤 隆志
常務取締役	有本 高明
常務取締役	廣田 正章
取締役	加茂田 優
取締役	中西 寛
取締役	片桐 健二
取締役	芝上 英二
取締役	高井 優
取締役	恒成 利幸
取締役	田中 静夫
常勤監査役	高井 博
監査役	掛川 雅仁
監査役	鹿内 茂行

(注) 監査役掛川雅仁氏及び鹿内茂行氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

工事排水向け ポンプシリーズのご案内

水中ポンプ

さまざまな用途で活躍！

上部吐出し口。

吐出し方向が「上」「横」に変更可能。モータ強制冷却構造で熱対策も万全。

LB・LBA型

吐出し口径：40・50mm
出力：0.25～0.48kW
全揚程：6～8m
吐出し量：0.10～0.12m³/min



自動運転形

泥水を強力排水。

高クロム鑄鉄のハイスピン形羽根車と攪拌羽根が強力に泥水を排水。

HSD・HSDE型

吐出し口径：50mm
出力：0.55kW
全揚程：9m
吐出し量：0.10m³/min



自動運転形

横吐出し口のベーシックタイプ。

通過性を特に考慮したスパイラル構造を採用。

HS・HSE型

吐出し口径：50mm
出力：0.4kW
全揚程：8m
吐出し量：0.10m³/min



自動運転形

詰まりにくい。

枯葉などの軟弱異物が詰まりにくいストレーナ構造。

HSN型

吐出し口径：50mm
出力：0.4kW
全揚程：6m
吐出し量：0.13m³/min



30mmを通過。

大きな異物通過径で、しかも気中運転も可能。

HSU型

吐出し口径：50mm
出力：0.55kW
全揚程(MAX)：9.5m
吐出し量(MAX)：0.28m³/min



一般土木・建築工事・雨水・湧水・溜り水
地下室・各種ピット・下水道切換え工事の
排水など…

残り水対策ポンプ

特に水溜まりなどで威力を発揮！

カンタン始動で10mm。

底部より10mmの水があれば呼び水要らずで揚水可能。

LSR型

吐出し口径：50mm
出力：0.48kW
全揚程：8m
吐出し量：0.12m³/min



ノズルで吸水。水の掃除機。

小さなくぼみの溜まり水排水可能。

LSP型

口径(吸引口径)吐出し：25×25mm
出力：0.48kW
最大吐出し揚程：8m(50Hz)／9m(50Hz)
最大吐出し水量：0.06m³/min



吸水ホース

1mmまで排水。

吐出し方向が「上」「横」に変更可能。

LSC型

吐出し口径：25mm
出力：0.48kW
最高排出揚程：11m(50Hz)
12m(60Hz)



5mm運転のSUSタイプ。

連続運転可能水位5mmを実現。

SQR型

吐出し口径：50mm
出力：0.4kW
全揚程：8m
吐出し量：0.11m³/min



業界初!!

横型仕様
専用水中ポンプ



低水位の水槽や
狭所での使用に
最適!!

PLS/TMLS型

- 吐出し口径:50mm
- 出力:0.25・0.4kW
- 全揚程:2.0~3.0m
- 吐出し量:0.22~
0.27m³/min

バンクシリーズの横型

横VANI

新発売 横型仕様専用水中ポンプ
雑排水用 水中横型ハイ-spinポンプ
ステンレス製

PLS型

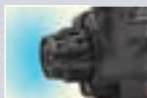
海水用 水中横型チタンポンプ

チタン製

TMLS型

特長

- オイルリフター内蔵
- 可搬性に優れたハンドル付
- 接液金属部
PLS/ステンレス製
TMLS/チタン製
- ゴム脚仕様で床面を
キズつけにくい
- 潤滑油には透明・無色・無臭
の流動パラフィンを採用



◀ ストレーナ
装着状態

連続運転最低水位の比較

連続運転最低水位が低いことによって、
比較的浅い槽などに設置するのに
最適です。

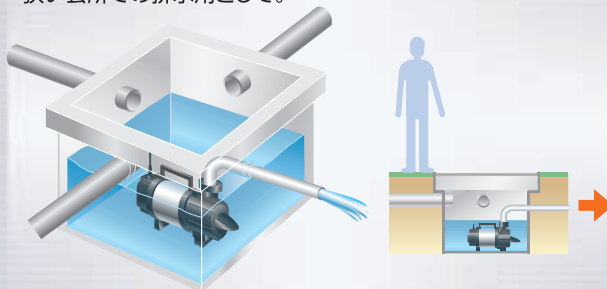


ヨコ型だから

例えばこんなところで使える!!

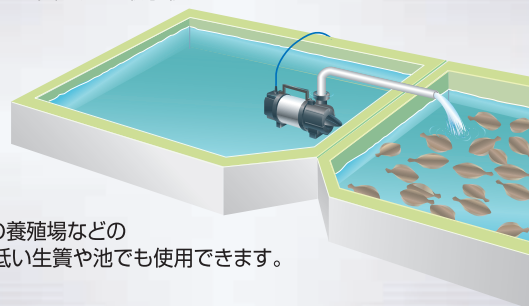
会所枳・U字溝で

狭い会所での排水用として。



ヒラメなどの養殖場・浅めの(人工)池で

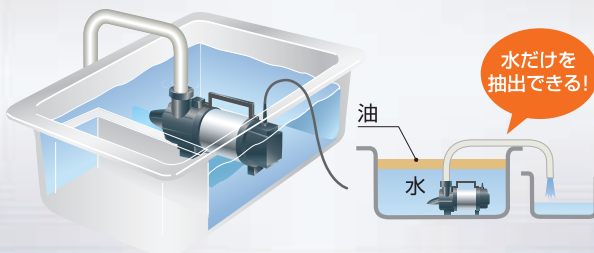
低水位の生簀や池の取水移送として。



ヒラメの養殖場などの
水位の低い生簀や池でも使用できます。

厨房排水で

業務用厨房などからの排水に含まれる多量の油脂分を浮上させ
回収する装置の排水として。



他にも横型低水位の利点を
活かした用途はいろいろ!!



株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月開催		
基準日	定時株主総会	毎年3月31日	
	期末配当金	毎年3月31日	
	中間配当金	毎年9月30日	

そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社		
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部		
(電話照会先)	☎0120-176-417		
(インターネット ホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/ STA/retail/service/daiko/index.html		

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法	当社のホームページに掲載します。 http://www.tsurumipump.co.jp/ ir/announce/index.html		
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部		



地球環境保護のために植物油インキを使用しています。